

令和4年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
2	1	7	秘書企画費	154

部局名	経営部
課名	企画広報課

I : 事業概要

施策事業名	秘書事務
事業目的	市長、副市長がその職務を円滑に遂行できるようスケジュール管理や資料作成を行うとともに、叙勲や表彰に関する事務を行い、市政運営の円滑化を図る。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課や諸団体から依頼のある行事等について、市長、副市長が滞りなく行事等に出席しその職務を遂行できるよう日程を調整、管理するとともに、適切な資料を提供。 (市長、副市長の交際・慶弔に関する事務と随行、各種会議での議案・要望内容の検討や作成の補佐、原稿依頼管理、決裁日程調整等) 栄典への候補者の推薦や、功績の顕著な方を把握し、自治功労者として表彰することで市の自治の振興を促進。 (叙勲推薦・受取事務、表彰、叙勲褒章受章者祝賀会の開催等) 愛知県市長会会長就任(令和3年6月～令和4年6月)に伴い、会長職として各会議へ出席。5月の東海市長会通常総会の開催予定市であったが、コロナの影響により中止。 令和3年5月に逝去した「河合雅雄氏(名誉市民)を偲ぶ会」(名誉市民条例に基づく市公葬に準じるものとして)を、姉妹都市の丹波篠山市(河合氏の居住地)と合同で開催。 <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通旅費、特別旅費 553,206円 全国市長会分担金 428,000円 愛知県市長会負担金 263,000円 名誉市民河合雅雄氏を偲ぶ会開催費用(委託料、会場借上料等) 192,600円
事業の成果・効果	<p>●各課や諸団体から依頼のある行事等について、市長、副市長が滞りなく行事等に出席しその職務を遂行できるよう日程を調整、管理するとともに、適切な資料を提供した。</p> <p>●栄典に関する推薦や市の自治功労者について把握し、その功績の顕著なものを表彰することによって市の自治の振興を促進した。</p> <p>●新市長就任に伴う業務の引継ぎを滞りなく遂行し、円滑に市政運営を開始できた。</p> <p>●「名誉市民 故河合雅雄氏を偲ぶ会」を姉妹都市の丹波篠山市と合同で開催した。</p>

II : 個別事業内訳

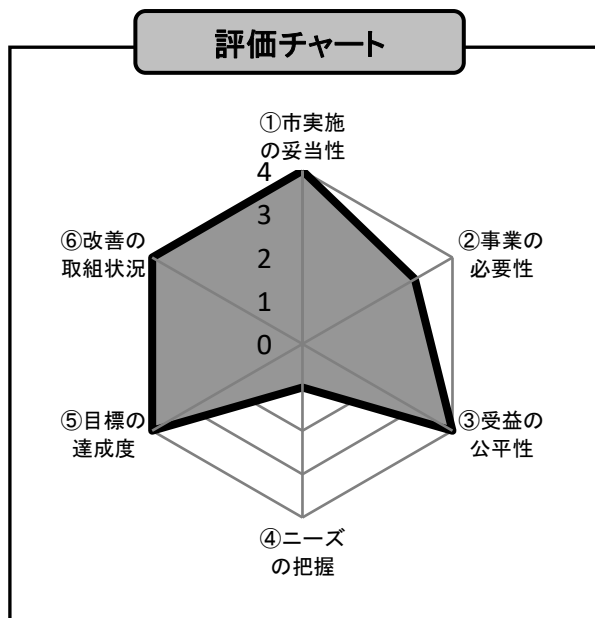
(単位:千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
秘書事務	2,409	0	2,409	100%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2,409	0	2,409	100%	4	4	4

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R3決算	R4決算	R5予算
		1,993	2,409	3,816
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,993	2,409	3,816
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	市長・副市長の職務に直結する業務のため市以外に実施主体はない。叙勲受章者祝賀会は、市民の栄誉を称える業務であるため、市以外に実施主体はない。
②事業の必要性	3	叙勲受章者祝賀会の開催に関しては、非常時下の優先度は高くないが、市長・副市長の職務に直結する業務が大部分を占めるため、必要である。
③受益の公平性	4	市長・副市長が行事や会議に出席することで、不特定だが多数の市民に影響を与える。
④ニーズの把握	1	市長・副市長の行催事への出席に関する事業は、ニーズ調査の性質に合わないが、年々出席依頼が増加していることから、ニーズは高まってきている。叙勲褒章祝賀会についても、受章者の約半数は出席されており、ニーズがある。
⑤目標の達成度	4	コロナの影響により予算説明書の目標・計画に記載した業務が計画通りに実施できなかったものもあるが、オンライン開催や出席者を限定するなど可能な限り実施した。(名誉市民を偲ぶ会、叙勲受章者祝賀会、市長・副市長の出席する会議、セミナーなど)
⑥改善の取組状況	4	市議会一般質問の対策として実施している内部調整会議について、作業負担とペーパーレス化の観点から、タブレット端末で関連資料を確認できる仕組みを導入した。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和4年度に見直しを実施した事項	名誉市民を偲ぶ会を丹波篠山市と共同開催し、日本モンキーセンターの協力を得たことにより、印刷製本費や映像撮影委託料の大幅な削減が可能となった。
令和5年度に見直しを実施している事項	商工会議所との共同開催としていた新年交礼会及び叙勲褒章受章者祝賀会のあり方を、今の時代やニーズにあわせた形で会の開催時期や方法等を見直しに着手している。
今後見直しを検討する事項	同上

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和4年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
新年交礼会及び叙勲褒章受章者祝賀会のあり方検討	商工会議所との共同開催としていた新年交礼会及び叙勲褒章受章者祝賀会のあり方を、今の時代やニーズにあわせた形で会の開催時期や方法等を見直していく。

令和4年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
2	1	7	秘書企画費	154

部局名	経営部
課名	企画広報課

I : 事業概要

施策事業名	企画政策
事業目的	河川空間の活性化、シティプロモーション、総合教育会議等の企画政策に係る事業を実施する。第5次犬山市総合計画の中で目指すべきまちの将来像の実現に向け、行政間連携・産学官連携のあり方などの研究・調整等を行うとともに、各事業の進捗管理を行う。第6次総合計画を策定する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○企画政策事務 <ul style="list-style-type: none"> ・企画政策分野における研究・調整等の推進 ・木曾川沿い河川空間の活性化 ・総合教育会議の開催 ・地方創生推進交付金等の活用 ・企業版ふるさと納税の活用 など ○総合計画 <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画、総合戦略の進捗管理 ・第6次犬山市総合計画の策定 ●主な決算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ○企画政策事務 <ul style="list-style-type: none"> ・PR媒体作成業務委託料 913,000円 ・伐採竹処分業務委託料 293,700円 ○総合計画 <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画策定支援委託料 5,293,200円
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●企画政策 <p>愛知県の交付金を活用し、栗栖地区の竹林整備を実施した。各種イベント等については、新型コロナウイルスの影響により、一部縮小して実施した。</p> <p>シティプロモーションについては、市外に住む人へ犬山市の住むまちとしての魅力を伝えるパンフレットやカレンダー等の媒体を作成し、市外イベント等で配布する等新たな取り組みを実施した。</p> ●総合計画 <p>第6次犬山市総合計画を策定し、令和12年度までの市政の方向性を示した。</p> <p>第5次犬山市総合計画等の進行管理を実施した。</p>

II : 個別事業内訳

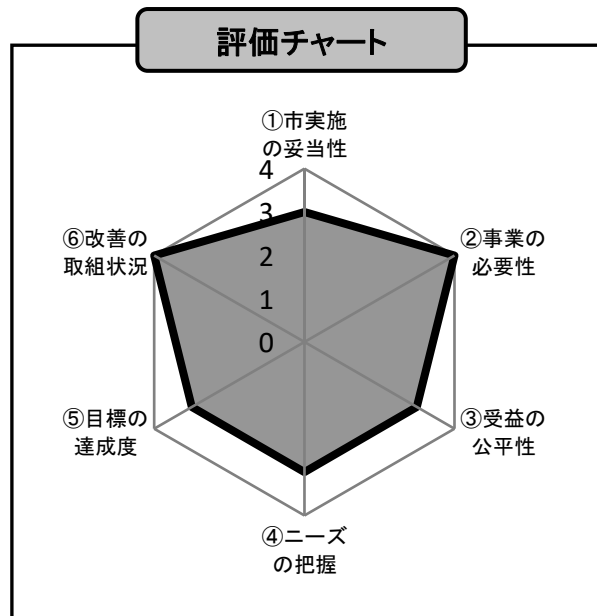
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
企画政策事務	2,007	969	1,038	52%	4	4	4
総合計画	5,759	3	5,756	100%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	7,766	972	6,794	87%	4	4	4

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R3決算	R4決算	R5予算
		15,355	7,766	1,429
財源内訳	国県支出金	1,305	969	17
	地方債	0	0	0
	その他	0	3	226
	一般財源	14,050	6,794	1,186
一般財源の割合		92%	87%	83%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	計画等は市が作るものであり、他が主体となることは考えられない。計画以外の施策の大部分は、他自治体とは異なる犬山市の魅力向上、創出、発信に資するものであり、民間による事業実施の可能性は否定できないが、採算性は期待できない。
②事業の必要性	4	市民の日常生活に直結するものではないが、総合計画については、市の根幹をなす計画であり、非常時や財政状況が悪化したとしても策定する必要があると考える。
③受益の公平性	3	計画等については多数の市民が恩恵を受けるが、他の事業は少数の市民を対象としたものである。
④ニーズの把握	3	原則として、関係者の意見を聞きながら各事業を実施している。また、シティプロモーションについては市外イベント等において来場者アンケートを実施した。
⑤目標の達成度	3	イベントの一部について、今後のあり方を考える中で実施を見送ったものがあるが、それ以外は当初の目標、計画どおり達成することができた。
⑥改善の取組状況	4	一部には例年どおりに実施するものもあるが、大部分においては、実施内容、手法の見直し等を行いながら、事業を実施している。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和4年度に見直しを実施した事項	第6次犬山市総合計画(令和5年3月策定)では、これまでの総合計画について感じていた課題(構成、記載内容等)に対応しながら策定に取り組んだ。また、シティプロモーションについては、市外イベント等においてパンフレットやカレンダー等の媒体を配布した上で、来場者アンケートを実施した。
令和5年度に見直しを実施している事項	第5次総合計画改訂版から、毎年、進行管理を行っており、審議会で意見や進行管理の手法にかかる課題も指摘されている。こうした意見等に対応するため、第6次総合計画策定を期に、進行管理の手法(資料含む)を見直しの準備を進める。
今後見直しを検討する事項	上記のとおり

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和4年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
第5次総合計画改訂版から、毎年の進行管理がはじまった。この中で、計画の構成や記載内容、指標や目標値の設定の適否、進行管理の手法の改善が求められている。	第6次総合計画については、課題に対応する形で策定した(令和5年3月)。令和5年度中に、令和6年度からはじまる進行管理についての手法を検討する予定である。

令和4年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
2	1	7	秘書企画費	154

部局名	経営部
課名	企画広報課

I : 事業概要

施策事業名	平和施策推進
事業目的	平和都市宣言に基づき、学校と連携した平和学習の充実など平和活動をすすめ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝える。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和祈念パネル展の開催(市庁舎ロビー、市立図書館、名古屋経済大学図書館、キャスト>ヨシツヤ犬山店) 市内小学校2校(犬山北、楽田)を対象に、平和祈念パネル展と戦争体験者による講話会の開催 現在加盟している平和首長会議および日本非核宣言自治体協議会を通じて情報収集を図りつつ、関係機関との連携による核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けた資料提供や情報発信 <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和講話会講師謝礼 20,000円 印刷製本費(啓発用文具名入れ) 45,430円 日本非核宣言自治体協議会負担金 30,000円
事業の成果・効果	<p>戦争の悲惨さと尊さを次代に継承し、争いのない恒久的な世界平和の実現のため、平和事業を推進している。昭和60年には「平和都市宣言」を行い、平成21年に平和首長会議、平成22年に日本非核宣言自治体協議会に加盟している。</p> <p>平成24年度から市内小学校2校を対象に毎年実施している平和講話会を犬山北小学校、楽田小学校において開催し、次代を担う子どもたちに、直接、平和の尊さを伝えることができた。</p> <p>また、講話会を開催した小学校では、学校給食で戦時中の食事(すいとん汁など)を提供し、「戦時」を体験学習する機会を設けた。</p>

II : 個別事業内訳

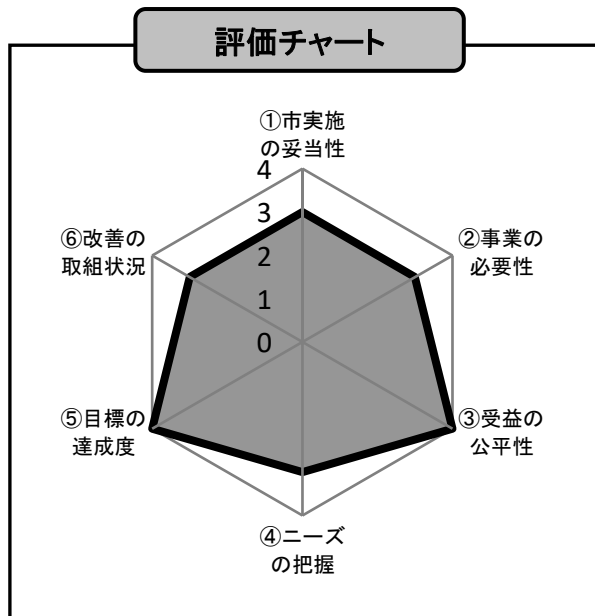
(単位:千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
平和施策推進	122	0	122	100%	4	4	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	122	0	122	100%	4	4	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R3決算	R4決算	R5予算
		138	122	146
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	138	122	146
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	平和の尊さを次代に伝えていくことは現代に生きる我々、とりわけ行政にとっての使命であり、積極的な取組が必要である。
②事業の必要性	3	平和の尊さを啓発し、周知することは市民の平和意識醸成につながり、市民の日常生活を下支えする取組であり、事業は継続する必要がある。
③受益の公平性	4	講話会は市内小学校2校を、平和祈念パネル展は市民全体を対象としている。複数の手法で展開しており、市民全体が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	平和講話会開催校においては、講話会後に感想文を書いてもらうことで、事業効果やニーズを把握している。また、県内被爆者行脚等の機会で、平和祈念パネルの展示が要望されており、ニーズがあると考えている。
⑤目標の達成度	4	年度当初の計画どおりに事業を実施することができた。
⑥改善の取組状況	3	多額の事業費を用いることなく、最小限の費用で実施している。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和4年度に見直しを実施した事項	平和意識の醸成につながる機会・方法を確保するため、戦争(原爆投下)をテーマとしたアニメDVDを購入した。また、平和パネルの貸出を行い、広く市民に平和の大切さを伝える機会を確保した。
令和5年度に見直しを実施している事項	平和パネルについて、市内小中学校に対して常時貸出ができる体制を整え、より多くの小中学生に対して平和の大切さや戦争の悲惨さ等を伝える機会を確保する。
今後見直しを検討する事項	戦後75年以上が経過し、戦争体験の減少や高齢化が進んでいるため、新たな平和講話会の語り部の確保や開催方法の検討等を行い、平和講話会の継続を図るほか、平和意識啓発につながる新たな手法も検討する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和4年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
戦後75年以上が経過し戦争体験者が減少しており、平和講話会を継続するための手法を検討する必要がある。	平和講話会における新たな語り手の確保やDVD等を用いた平和講話会に代わる小学生への平和学習機会を確保した上で、平和意識啓発につながる新たな手法も検討する。。

令和4年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
2	1	9	文書広報費	162

部局名	経営部
課名	企画広報課

I : 事業概要

施策事業名	広報広聴
事業目的	市政情報をわかりやすく発信し、市民と行政の情報共有を図る。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <p>○広報広聴事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 公式ホームページは、広報紙と同様に市民に行政情報を早くと確に伝えるだけでなく犬山市の魅力や郷土愛を醸成するシティプロモーションの一つとしても運用。同時にLINEやFacebook、TwitterなどのSNSにおいて情報発信、広報専門員が作成した動画をYoutubeで発信。 犬山市の魅力発信につながる公募型の動画コンテストの実施。 副業人材を活用し、市の職員に変わって、チラシやHPバナー等の広告媒体のデザインを作成。 「住むまち、犬山」をコンセプトに、観光地ではない住むまちとしての魅力を伝える動画を作成。 市民の日常生活上の悩みごとや心配ごとについての市民相談を開設や、HPや広聴カードにて寄せられた市民の声に対して回答する広聴業務を実施。 <p>○広報紙作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報紙は、市民に対して市政情報を提供し行政に接する媒体のひとつとして、また市民活動の紹介や犬山市の魅力を再認識してもらうなど郷土愛を育むツールとして、さまざまな情報を発信。 <p>○広報板管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスター等により市政情報を伝える媒体として各町内会に設置している広報板の維持管理を行う。 <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷製本費（広報印刷費） 16,044,644円 シティプロモーション推進業務委託料 3,184,500円 犬山市PR動画制作業務委託料 3,000,000円（R3年度より繰り越し） ホームページ管理運用システム使用料 1,832,820円 チラシ等デザイン委託料 797,940円
事業の成果・効果	<p>●広報広聴事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページを適切に更新し、情報を迅速に発信できた。 動画コンテストを実施し、魅力的な動画を獲得できた。 PR動画を作成し、犬山の魅力を発信する動画を獲得。県広報コンクールの映像部門で入選した。 広報専門員による動画広報「まるいちTV」を発信した。 副業人材を活用し発信力のあるデザインのチラシを作成できた。 市民相談窓口にて女性相談員を設置し、広く相談ニーズに応えることができた。 <p>●広報紙作成 適切な編集発行と併せ、令和5年度からの月1回発行、全戸配達移行に向けて準備した。</p> <p>●広報板管理 町内会からの要望に対し、適切に対応できた。</p>

II : 個別事業内訳

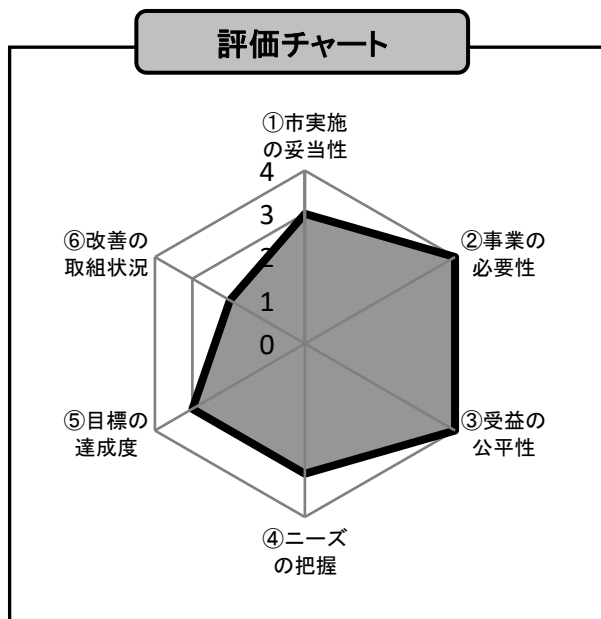
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
広報広聴事務	10,334	2,055	8,279	80%	3	4	4
広報紙作成	16,045	4,335	11,710	73%	3	3	3
広報板管理	1,184	0	1,184	100%	2	2	2
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	27,563	6,390	21,173	77%	2	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R3決算	R4決算	R5予算
		21,104	27,563	52,920
財源内訳	国県支出金	481	1,500	0
	地方債	0	0	0
	その他	4,509	4,890	10,415
	一般財源	16,114	21,173	42,505
一般財源の割合		76%	77%	80%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	行政の説明責任(アカウンタビリティ)を果たすうえで不可欠なものであり、主体的かつ積極的な情報発信が必要である。
②事業の必要性	4	税、医療、福祉、子育て、防災など市民生活に不可欠な市政情報を市民へ提供する必要がある。
③受益の公平性	4	全市民が対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	不定期ではあるが、市民意識調査を実施し、広報紙関連のニーズを把握している。
⑤目標の達成度	3	より多くの市民へ市政情報を伝達するため動画広報による情報発信を開始した。また、広報紙や公式ホームページに加えてSNS、スマホアプリなど活用可能な伝達媒体を導入している。
⑥改善の取組状況	2	相談者の女性が安心して相談しやすい市民相談とするため、女性相談員を設置した。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和4年度に見直しを実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> 市民相談への女性相談員の設置 広報専門員の設置により、紙や文字だけでなく動画による市政情報の発信を行うことで、視覚的にわかりやすく事業内容を伝えられるようになった 広報紙の月1回発行とカラー化 広報紙の配布方法について町内会経由での配達から、民間業者による全戸配達への変更
令和5年度に見直しを実施している事項	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙における月1回発行・カラー化による特集企画の活用方法と、効果的な紙面構成を実施 広報紙を町内会経由での配達から、民間事業者による全戸配達の実施
今後見直しを検討する事項	<ul style="list-style-type: none"> 広報板の管理方法、適切なあり方の検討 適切な情報発信を行っていくうえで、SNSのさらなる活用推進

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和4年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
・広報紙の発行回数減少による、情報の鮮度をいかに保つか。	SNSに限らず、回覧や、市ホームページなど情報の性質にあった媒体の選択やタイミングでの発信を行い、鮮度や情報量を落とさないような工夫をしていく。